

記 録

燧ヶ岳

10/9

須崎 単独

ガス・小雨 御池7:00-広澤山代7:50-熊沢山代8:30-長英新道分岐12:05/12:20-燧分岐12:05/12:20-沼山峠休憩所13:00/13:30-御池14:05/戻り

.....当初は上越国境の山に行く予定だったのだが、大気があまり良くない予報だったので、南会津の山へ。コロナで2年訪れることが出来なかった燧ヶ岳に追悼登山に向かう事にした。当日の天気は雨が混じるガス、気温は低くない。上だけ合羽を羽織るが暑い。人気の山だけあつて人の数は多く、山頂は賑わっていた。硫黄沢に合掌。山スキーの下見もかねて長英新道側に降りる。長蔵小屋付近でお昼を食べようとおもっていたが、案外バスで来るお客が多いので大江湿原の手前の栈橋でお昼を軽くとった。ここまで来て、ちょっと歩き足りないのに来が付いたが、携帯の電波も無いので当初の予定通り沼山峠に降り、バスに乗った。御池まで歩こうかとも歩こうかとも思ったが、舗装路を歩くのは消耗するだけだったので止めにした。

今度は七人からスタートして周遊するコースヲやってみよう。
い。 (須崎 記)

三岩岳~窓明山

10/10

須崎 単独

快晴

国体コース入口6:10-避難小屋9:35-三岩岳

(次頁へつづく)

(2)

(前頁よりつづく)

10:25 / 10:45 - 避難小屋 11:10 - 三岩岳 10:20 / 10:45 - 避難小屋 11:10 - 窓明山 12:10 / 12:20 - 巽沢山 14:05 - 国体コース入口 14:50 / 戻り

・・・紅葉のブナを求め三岩山に向かうが1～2週間早かったが、上部ブナ帯では紅葉が始まっていた。三岩～窓明はご当地のみの無名山岳であるが、原始的なブナ林が有り、高層湿原があり、多雪による地形がありと南会津の要素をふんだんに詰め込んだ良コースであると再認識した。また再訪したい。

(須崎 記)

那須岳

12 / 24

檜村 単独

晴

大丸駐車場 10:10 - 峠の茶屋登山口 10:40 - 森林限界抜けたあたり 11:20 - 茶臼岳 13:20 - 峠の茶屋 14:00 - 大丸駐車場 15:10 / 戻り

・・・週末寒波の予報なので、その前にと思い出かけてきた。大丸までの道路には、先般降った雪はなかった。今の時期としては気温は高めのように、歩き始めると暑くて、もっと薄着ても良かったと反省。森林限界を抜けたところから茶臼岳に向けて直登し、小屋からのルートと合流。山頂は、風はほとんど無く、独り占めしての展望を堪能して、峰の茶屋経由で下山した。

(檜村 記)

編集後記

12月と本年1月の例会には、3と4名の会員出席にて例会が再スタート。疫病も猛烈な勢いで再スタート。参加者各位に問題が無いのか不安である。症状を感じたら徹底しての対応を行って欲しい。

そのお陰で、本号の発行となった。小生も注意して担当としての務めを続けるつもりです。HPも見てください。では次号で。